

建設大臣賞

常磐浜寺線整備事業

(表彰対象者：大阪府土木部)

表彰の理由

市街化の進展しつつある本地区において、地下鉄、共同溝、自転車駐車場を一体的かつ立体的に整備し、新市街地にふさわしい土地の高度利用を実現したものであり、計画性、経済性に優れた事業として評価されたものである。

事業のあらまし

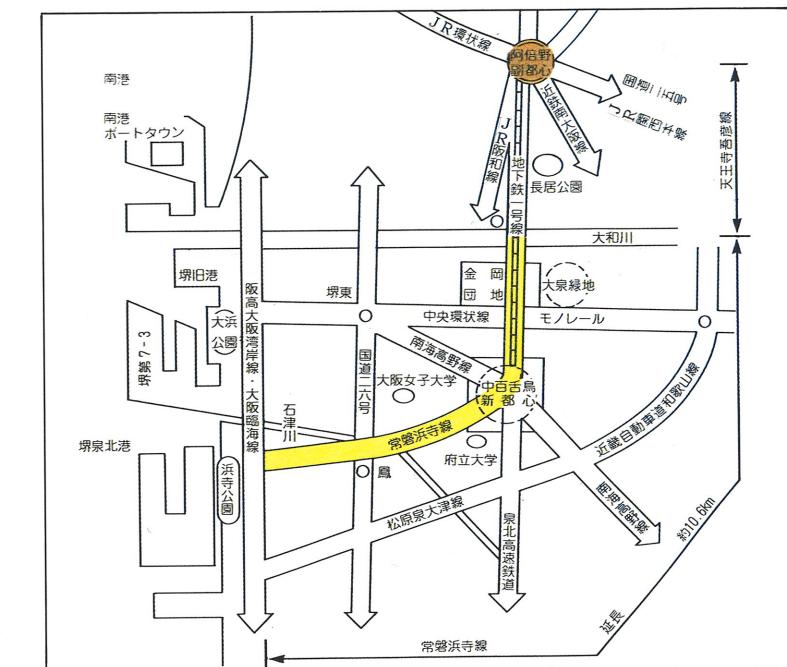
この事業は、新都心として整備の進む堺市の中百舌鳥地区の骨格を形成する街路として地下鉄（大阪市高速鉄道1号線）や共同溝、それに街路のアンダーパス部分の上部を活用して自転車駐車場の整備を行ったものである。

- 延長：1,681m
- 幅員：27m
- 事業費：2,377百万円
- 事業実施期間：昭和54年4月～昭和63年3月

地下鉄、道路、自転車駐車場を限られた街路空間の中で立体的に利用している。



整備後の常磐浜寺線。



事業遂行上の工夫

南海高野線及び泉北高速鉄道との立体交差型式決定にあたり、中百舌鳥地区の新都心整備及び地下鉄中百舌鳥駅築造並びに環境対策等総合的な検討を行い、道路、地下鉄駅、広場間等との歩行者連絡もスムーズに行われる様にした。

受賞者のコメント

本路線の整備にあたっては、「新都心にふさわしい環境、景観に配慮した先行的な都市基盤整備に努める」ことを基本に、無電柱化を目指した共同溝、駐輪対策としての都市計画駐輪場を加えた街路空間の立体利用へと発想を拡げ、一体的な取り組みに努めた。受賞を励みとして、今後とも街路事業の推進に努力したい。